

今が旬！秋の味覚フルーツ“梨”

日本なし国内収穫量最多の「千葉県」

千葉県松戸市で楽しむ、“梨狩り”

知っ得！梨狩りを2倍楽しむための
日本で食べられる梨の豆知識

日本で食べられる梨の種類は3種類

日本で見られる梨には日本梨、西洋梨、中国梨の3種類があります。そのうち生産量が最も多いのが日本梨です。日本梨は、日本で栽培される果物の中でも歴史が古く、弥生時代にはすでに食べられていたと言われています。また日本書紀にも栽培の記述が残っており、江戸時代には栽培技術が発達し100種類近くがあったとされています。今では様々な品種が栽培されていて、皮が茶色系のものが赤梨、黄緑色のものが青梨と呼ばれています。

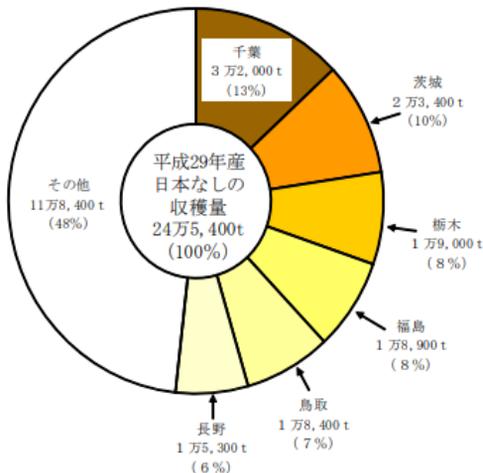
◆赤梨 ※一例

- 幸水**／日本の代表的な梨。形は横幅があり扁平。果肉が緻密で柔らかく多汁。甘さが強く人気が高い。
- 豊水**／やや大きめ。甘味も酸味もあり、味がよい。食感は柔らかく、日持ちする。
- 新高**／大きいものでは1kgにもなる。みずみずしく、味は上品。高知産は特に糖度が高い。
- 新興**／丸くて大きい。果肉が柔らかく果汁が多い。甘さと酸味のバランスがいい。貯蔵性が高い。

◆青梨 ※一例

- 二十世紀**／青梨の代表的な梨で、鳥取のブランド梨。果汁が多く甘い。
- 二十一世紀**／二十世紀を甘く改良した。元々の名称は「瑞秋」。
- サンゴールド**／二十世紀を袋かけをしないで栽培したものの。皮の緑が強く、甘さも強い。

千葉県は日本梨の収穫量“全国1位”



参照：農林水産省「農林水産統計」平成29年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量

日本梨の収穫量 全国1位は千葉県！！

3万トン以上の梨を収穫しています！

松戸市は二十世紀梨発祥の地

松戸市発祥の『二十世紀梨』とは

『二十世紀梨』は、大きさ300gくらいで果皮は黄緑色、甘みの中にさわやかな酸味を持ち、やわらかな果肉は果汁を多く含んでいて食味に優れています。二十世紀梨の歴史は古く、**1888年(明治21年)に千葉県松戸市で発見されたのが始まり**です。当時13歳だった、松戸覚之助氏が親戚宅で見つけた苗木を譲り受け、それを実家の梨園で育てたところ10年後に結実。とてもおいしい青梨ができました。その青梨はしばらくの間「新太白」という名前と呼ばれていましたが、専門家に質の高さが認められ、1904年(明治37年)に「二十世紀」と命名されました。

この名前には「二十世紀を代表する品種になってほしい」という意味が込められているそうです。また、同時期に鳥取県へ導入され、全国的な人気品種となりました。



平成14年に鳥取県より送られた「二十世紀梨感謝の碑」(二十世紀公園)

知っ得！梨狩りを2倍楽しむための 日本で食べられる梨の豆知識

美味しい梨の見分け方

【POINT①】形をチェック

梨は尻の方が甘いので、底がふっくらしたものを選びましょう。ただし、尻にある花落ちの部分が黒ずんでいるものは避けてください。横幅があり、ぼつてりと腰が低い感じで、全体的にどっしりとしているものがよいです。

【POINT②】表面をチェック

皮が鮮やかで、色にむらがないものがよいです。また、傷がなく、果皮にハリがあるものを選びましょう。表面のザラザラがなくなら、触った感じがなめらかになってきたら、食べ頃です。実際に手に持ってみて、ズシリと重みを感じるものの方が、水分が多いです。

【POINT③】色をチェック

幸水などの赤梨は、適度に赤くなってきた頃に甘くなります。また、二十世紀などの青梨は、少し黄色みがかってきたら甘みが増してきた証拠です。ただし、皮にハリがなくなってきたら、熟しすぎているので避けましょう。

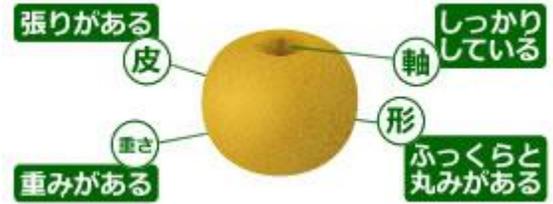
なしの糖度分布



分がゆやすくするため
太げさに色分けしています



※当サイトで独自調査した結果です(サンプル数 28)



参照：果物情報サイト『果物ナビ』より

梨の保存方法

梨の身上はシャキシャキした食感と、果汁が滴るジューシーな感じです。それを損なわないよう、乾燥しないようにビニールなどの袋に入れ、冷蔵庫の野菜室にいれておきます。そうしておけば1週間近くは美味しい状態で保存できますが、日本の梨は基本的に追熟しないので、鮮度が良いうちに早めに食べるようにしましょう。

※松戸の梨は木で完熟させて販売されているため3～5日程で食べていただくことをおすすめします。

おいしい食べ方

梨などの果物の甘味は長時間冷やし過ぎると薄れてしまいます。美味しく食べるには、食べる直前に氷水に浸けて冷やしたり、食べる1時間ほど前に冷蔵庫に移して冷やすようにしましょう。

8月～10月が旬！ みずみずしい「まつどの梨」梨狩り&直売スポット

まつどの梨の種類

幸水(こうすい)、豊水(ほうすい)、菊水(きくすい)、二十世紀(にじゅっせい)、新星(しんせい)、かおり、あきづき、新高(にいたか)、新興(しんこう)

※各梨園によって育てている品種は異なります。収穫時期の順に記載しています

- 開園期間／2018年8月中旬～10月中旬
- 梨狩り料金／入園料無料。1kgあたり650円

■梨園の場所

全51園で梨の直売を実施。そのうち27園で梨もぎ体験ができます。

- ・松戸市高塚上地区 (17園・梨もぎは12園)
- ・松戸市高塚下地区 (16園・梨もぎは6園)
- ・松戸市五香金ヶ作地区 (11園・梨もぎは5園)
- ・松戸市六実地区 (7園・梨もぎは4園)

■各梨園の住所や連絡先情報はこちら！

<https://www.matsudo-kankou.jp/pearinfo/> (松戸市観光協会ホームページ)



梨園MAP



各地区へのお問い合わせの電話番号の市外局番は 047 です

松戸は二十世紀梨発祥の地です。

二十世紀梨は、1888年(明治21年)に大橋村(現在の松戸市二十世紀が丘梨元町)で、当時13歳だった松戸覚之助少年によって発見されました。覚之助少年は、親戚の家で偶然苗木を見つけたのです。大切に育て、十年後実った梨はとても美味しい梨として脚光を浴びました。この梨は二十世紀を代表する品種になって欲しいという期待を込めて、1898年(明治31年)に「二十世紀梨」と命名されました。

1904年(明治37年)には鳥取県でも栽培が始まり、現在では鳥取県が全国一の生産量を誇る迄に成長しました。21世紀を迎えた今、二十世紀梨は鳥取と松戸の友好の証として、新たに「人と人の絆」を結ぼうとしています。

平成14年に鳥取県より送られた「二十世紀梨感謝の碑」(二十世紀公園)▶

